

「第15回大阪府中途失聴・難聴者福祉大会」で頂いた質問を小川様にご回答いただきました。会場で回答のいただいたものも含まれていますがさらに詳細に説明を頂いております。

①補聴器専用マイク(ロジャーマイク)について (大変興味深い。このマイクはどのメーカーの補聴器にも対応しているのか?)

マイクはフォナック社の補聴援助システム、ロジャーシステム(2.4GHz)の送信用マイクです。別途、補聴器側に受信器が必要です。UDトークと共に使うならロジャーペンがお勧めです。受信器は大きく分けて二種類あります。

- 1) フォナック社の製品に内蔵するもの
- 2) 受信器を補聴器用のブーツアダプター(別売)を使って、各社の補聴器に取り付け可能なもの。

お持ちの補聴器に対応するかどうかは、フォナック社製品を扱っている補聴器店で、認定補聴器技能者のいるところにお尋ねください。協会HPに参考URLをアップしてます。

②電話リレーサービスについて

企業に問い合わせするときに、総合案内のような番号にかけると、機械による音声案内がある。その時、「～の場合は、何番を」のような状況がありますが、このようなシステムの時も電話リレーサービスは対応できますか?

現在ではできません。手話リレーも文字リレーも、オペレーターが中継して相手に連絡します。直接相手につながっていないので、手元の端末で番号を押しても、相手には届かないのです。

③車の事故や救急車を呼びたい時など緊急の

電話で非常に困ることが多いのですが、リレーサービスは対応可能ですか?

リレーサービスで110、118、119番へ緊急通報することが可能です。なお、難聴者の場合は発音は出来る方が多いので、通常の音声電話で一方通行的に通報する方法もあります。相手側が何を言っているか聞こえなくても「いつ」「どこで」「何が起きたか」「どうしてほしいのか」を落着いて正確に伝えれば、先方で対応してくれると聞いています。

④電話リレーサービスは相手側の音声を直接、聞くことはできますか?

現在のシステムではできません。相手側とオペレーター間は音声電話ですが、オペレーターと利用者の間は手話または文字でのやりとりです。相手とは直接つながっていないのです。

⑤電話リレーサービスは通信料以外の月額料金などは?

まず通話料ですが、電話をかけた人が負担します。月額料金を負担するかどうかで、通話料金も変わります。

(以下、日本財団電話リレーサービスのサイトから引用)

【きこえない人等が発信する場合】

・月額料ありプラン ※通話料はいずれも1分あたり

月額料1番号あたり 178.2円(税抜 162円)

固定電話着 5.5円(税抜 5円)

携帯電話着 33円(税抜 30円)

緊急通報、フリーダイヤル 無料

・月額料なしプラン ※通話料はいずれも1分あたり

固定電話着 16.5 円(税抜 15 円)
携帯電話着 44 円(税抜 40 円)
緊急通報、フリーダイヤル 無料

⑥ポケット mini・タブレット mini を購入時、福祉の補助費用などはあるか？

また実際に福祉申請が可能な自治体の事例があるなら教えてほしい。

身体障害者手帳を持つ聴覚障害者向けに、日常生活用具があります。タブレット mini 等はメニューには入っていないので、ほとんどの自治体では新たに独自導入するよう、要望が必要です。メニューが用意されている(された)自治体もあります。北見市(北海道)、山形市、港区、八王子市 以上 4 カ所で認められているそうです。

⑦声で筆談アプリについて

UD トークはログの保存、メール送信が可能だが、声で筆談アプリではどうか？

声で筆談ではログの保存ができません。

⑧どの音声アプリが小川さんは 1 番良いか？

音声認識は使う場面によって選択できるようになってきました。正確さでは Google 認識が良いようです。小川は特にロジャーペン+UD トークの組み合わせで、補聴器で聞きながら、音声認識させた文字を聞きながら理解しています。不完全な聞こえ、誤認識があっても、「見る」「聞く」同時に補いながら理解することができるのが気に入っています。

⑨相手が私の難聴を知らない場合に相手側にスマホなどの音声認識アプリなどを使ってもらえるようにお願いする良い方法があれば教えて下さい。

まず私の側が聞こえにくいことが視覚的に

わかるよう、耳マークの使用をお勧めしたいです。外見では難聴であること、対応が必要なことがわからないので、必要なタイミングで使ってみてはどうでしょう。

デモでお見せしたように、口元近くで画面を相手に見せながら操作して見せると、使い方がイメージしやすいです。

⑩音声認識アプリのご認識を防ぐ方法について(外部マイク・辞書登録・その他の方法など)

できるだけ静かな場所で、明瞭な音声を入れる必要があります。マイクは話し手の口元に近いほど、正確に認識します。

アプリによっては、事前によく使う単語を辞書登録することで、正確さが向上します。雑音を認識しないように、こまめにマイクをオフにするのも方法です。